

# 麻生区区民会議ニュース 第5期 Vol.6 【提言概要版】

平成28年6月20日発行

発行／麻生区区民会議 編集／企画部会  
事務局／麻生区役所まちづくり推進部企画課  
電話：965-5112 FAX：965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp



## 第5期区民会議の提言まとまる！

平成26年7月にスタートした第5期麻生区区民会議は、平成28年5月13日（金）に最後となる全体会議（第8回）を開催しました。

これまでの調査審議の経過や取組、提言などを内容とする第5期麻生区区民会議報告書「心がかよう魅力あるまち あさお」を全体会議において取りまとめました。会議終了後、金光秀尚委員長から北沢麻生区長に報告書を提出しました。

第5期麻生区区民会議では、抽出された麻生区内の地域課題をもとに、ワークショップ（ワールド・カフェ方式）を行い、区民にとって関心が高く、特に対策が必要なテーマである「若い世代が住みやすいまちづくり」と「市民活動・地域活動の活性化」の2つの専門部会に分かれ、審議を重ねてきました。

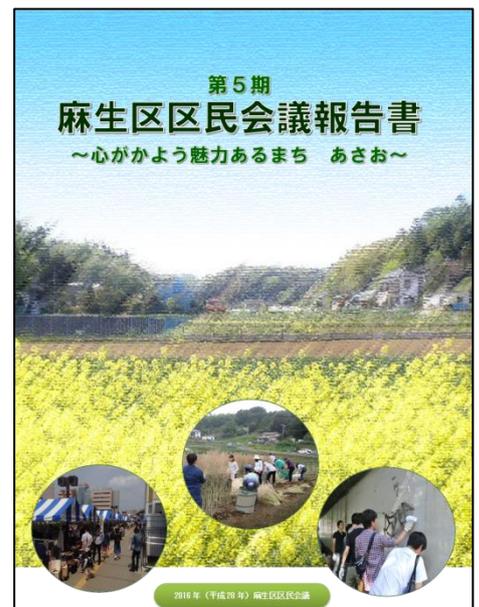
今号では、2年間の調査・審議結果をもとにそれぞれの部会から生まれた提言の概要及び課題解決への取組について皆様にお知らせします。



金光委員長から北沢区長に報告書を提出しました



今回の提言をまとめた区民会議委員



今回提出された報告書

報告書は7月以降、麻生区役所企画課窓口で配布する他、区のホームページからもご覧いただけます。

麻生区区民会議

検索



# 1 「若い世代が住みやすいまちづくり部会」からの提言

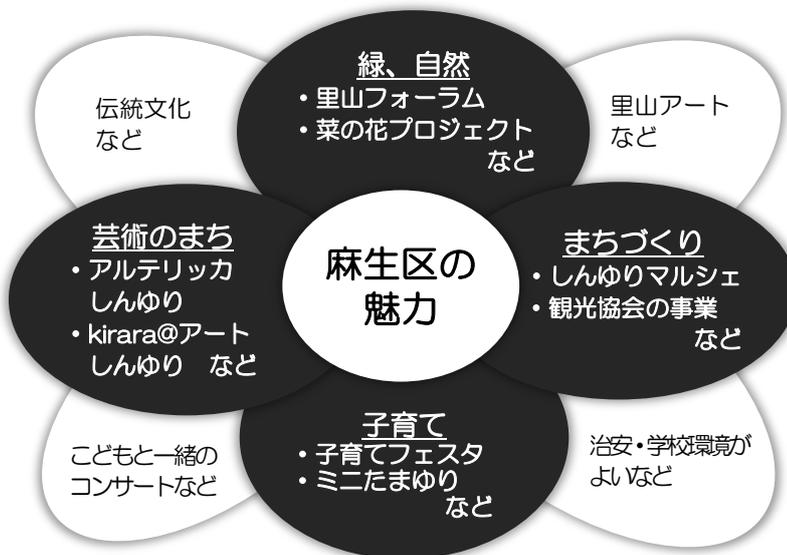
若い世代が住みやすいまちづくり部会では、若い世代が転入し、安心して住み続けてもらうため、「麻生区の魅力のブランド化とPR」と「空き家の利活用」について検討してきました。

調査審議の結果、麻生区は「若い世代が住みやすいまち」としての魅力にあふれていること、空き家の利活用についても、様々な取組が進められていることがわかりました。その一方、「魅力についてはさらに周知・PRしていくこと」、「空き家の利活用は地元の理解を得ること」が必要であると考え、次の3つの方向性から、4つの提言を取りまとめました。

I 魅力に関わる団体の連携 II 魅力の情報発信 III 空き家の利活用

## I 魅力に関わる団体の連携

提言1 区民と行政が協働した組織体制をつくり、具体的な検討・取組を進める上で、「区民会議」を活用することや、「(仮称)麻生区魅力PR委員会」の設置を提案します。



それぞれ目的を持って活動  
(魅力を充実)している

### 魅力に関わる団体の連携

若い世代に麻生区の魅力を伝え、住み続けたい、住みたいと思ってもらうために魅力を伝えていくには、団体が連携して検討し、PRしていくことが必要。

## II 魅力の情報発信

提言2 麻生区の魅力をPRする方法として、「麻生区のホームページの改善」と「(仮称)麻生シティセールス・PR部門」の設置を提案します。

○魅力をPRする上で、特にホームページは重要であり、早急に内容を充実させ、魅力をわかりやすく発信していくことが求められます。

提言3 麻生区の魅力をブランド化し、効果的にPRしていくための「キャッチフレーズ」を検討し、活用していくことを提案します。

○麻生区にあるさまざまな魅力を集約し、若い世代を呼び込むための分かりやすいキャッチフレーズが求められています。例として、「いなかのある都会」を検討しました。

## III 空き家の利活用

提言4 学生・若い世代や地域(町内会・自治会)、NPO・大学・民間業者等による地域ぐるみの仕組みとして、「空き家ネットワークの構築」を提案します。

○空き家のネットワークを構築するため、次のとおり検討を進め、実施していくことが考えられます。

- ①空き家の実態把握を行うとともに、現在区内で進められている空き家の利活用の事業等について調査・ヒアリングを行い、それらをモデルケースとして、得られた効果を踏まえ、さらに効果的な対応策の検討を進める。
- ②実態を踏まえた、空き家所有者等からの情報提供と、利活用に向けた仕組み・地元の理解・協力を得るためのルールづくりや、支援策を検討する。
- ③空き家の利活用に向けて、大学やNPO・民間事業者等との連携体制を整備する。
- ④以上を踏まえ、地域、大学・NPO・民間事業者が連携し、行政の支援を得ながら実施していく。

## 2 「市民活動・地域活動の活性化部会」からの提言

市民活動・地域活動の活性化部会では、シニア世代を念頭に、ボランティア活動に気軽に参加できる環境を整えることを検討しました。調査審議の結果、ボランティア活動に関する多くの地域資源を活用して、ボランティア活動に気軽に参加できる環境づくりについて、次の3つの方向性から、4つの提言を取りまとめました。

- I ボランティア活動の土壌づくりに向けて
- II 「あさおボランティア情報センター（仮称）」の設置に向けて
- III ボランティア参加のきっかけづくりに向けて

### I ボランティア活動の土壌づくりに向けて

**提言1 誰もがボランティアを身近に感じ、ボランティア活動に参加しやすい機運を高めるために「ボランティアのまち・あさお」を掲げることを提案します。**

○ボランティアな活動が浸透した、人と人が支え合う暮らしやすい地域社会を将来イメージとして、「ボランティアのまち・あさお」を掲げることで、ボランティア活動の土壌をつくることができ、区民が参加しやすい機運が高まり、普段からボランティア活動を身近に感じることができるようになると考えます。

### II 「あさおボランティア情報センター（仮称）」の設置に向けて

**提言2 「あさおボランティア情報センター（仮称）」を拠点とした、ボランティア参加のネットワークを構築することを提案します。**

- 本部会では、地域に多数あるボランティア資源を活用して、関心のある区民の方々を様々なボランティア活動につなげるための仕組みとして「あさおボランティア情報センター（仮称）」の設置を提唱します。このセンターは総合的なコーディネート機能を有し、人や団体、資源をつなぐ役割を担います。
- 現時点では、センターは、区内の機関の連携の連合体をイメージしています。まずは、中間支援組織や市民活動を支援する区役所が連携し、情報やボランティア活動支援のノウハウを共有して、ボランティアに関心を寄せた人を相応しいボランティア活動につなげていくことが必要です。たとえば、各相談窓口がお互いに情報やノウハウを共有し連携した上で、ボランティア参加のネットワークの総合案内窓口をつくることも考えられます。

### III ボランティア参加のきっかけづくりに向けて

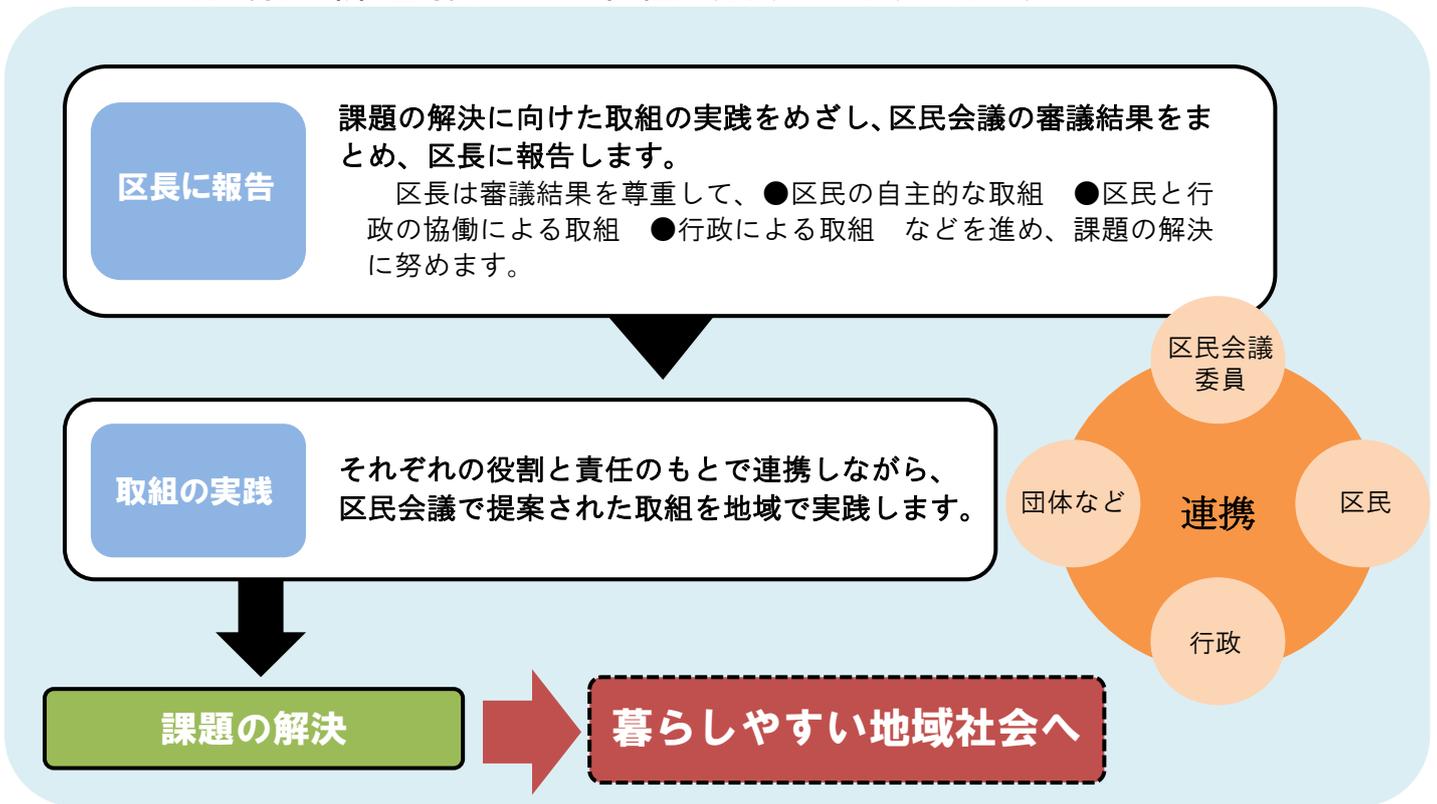
**提言3 ボランティア情報の効果的な発信とともに、情報の一元化の取組を進めることを提案します。**

- 情報を発信することで、ボランティア活動をしたい人と、ボランティアを求めている人・団体とを、より一層つなげることが必要であると考えます。
- シニア世代に、ボランティアに関する情報を周知する際には、図書館や麻生老人福祉センター、スポーツセンター、公園健康体操等、シニア世代が集まる施設・場所に、定期的に情報を発信していくことが有効であると考えます。相談窓口等の周知にあたっては、多くの方に読まれている市政だより区版や地域情報紙を活用し、その存在を知らせていくことが効果的であると考えます。

**提言4 相談窓口の連携、入門講座や体験講座の開催等を通じて、ボランティアに関心を持った区民に対して「参加への一押し」をすることを提案します。**

○ボランティアに関心を寄せた区民に対しての受け皿が必要です。麻生市民交流館やまゆり、麻生市民館、麻生区社会福祉協議会等に設置されている相談窓口は、希望に適した団体を探す上で非常に頼りになる存在と考えます。区民のみならず団体にとっても身近な窓口になるように、それぞれの窓口の特色を活かしつつも、情報やノウハウの共有等、更なる連携が求められます。

### 3 区民会議の課題解決への取組（提言から実践へ）



## 区民会議へのご意見ありがとうございました

第5期区民会議に対し、区民の皆様から多くの意見、提案が寄せられました。皆様の麻生区への思いと区民会議への期待として受けとめさせていただきました。寄せられた意見等については、議論するとともに、関係する担当課へ情報提供させていただきました。

平成28年4月以降に寄せられた主な意見の概要をお知らせします。

#### ■「芸術のまち」というコンセプトについて

芸術のまちが浸透しているかどうかというのは、一般の方が暮らしていて、日常的に「芸術」に触れる機会があるかどうかということとほぼイコールではないかと思うのです。

具体的な案として、①人通りの多い場所に、「常設の屋外イベント場所」を確保する ②イベントや舞台の宣伝を兼ねて、定期的に生演奏、生演技、実演等を披露する ③出演者が次の出演者を連れてくる。芸術活動をしている方が多いのですから、それらの活動が有機的に結びつくような仕組みができ、まだ関心のない方へ届くようになったらよいと考えております。

#### ■区民の地縁活動（町内会等）と志縁活動（ボランティア等）の連携・協力について

現在、「ボランティアの活動促進」について調査審議が進められております。できましたら、この取組の次のステップとして、市民の志縁活動と地縁活動との連携・協力による区民活動の活性化について、調査審議のテーマにしていいただければと思います。区の「共同・連携」推進事業とも関連付け、麻生区内の各地域住民が自らの住む地域の「未来づくり」に取り組む、仕組みづくりについて、ご検討いただければと思います。

なお、第6期区民会議は7月からスタートする予定です。区民会議はどなたも傍聴可能です。関心のある方はぜひお越しください。会議の開催日程は、決まり次第、区ホームページ等でお知らせします。

#### 第5期麻生区区民会議報告書（提言概要版）

区民会議事務局 [麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 FAX：044-965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp